

会 議 録

1 会議名

令和4年度第1回上越市社会教育委員・上越市立公民館運営審議会委員会議

2 議題（公開・非公開の別）

- (1) 令和3年度事業報告について（公開）
- (2) 令和4年度事業計画について（公開）
- (3) その他（公開）

3 開催日時

令和4年4月27日（水） 午前10時～11時50分

4 開催場所

直江津学びの交流館1階 イベントホール

※オンライン会議（会場参加とオンライン参加により実施）

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

- ・委員：（会場参加）茨木真、川上優子、小林榮、流石光信、保坂和彦、
百沢ちかい、森田浩、渡邊恵美
（オンライン参加）石田浩久、江村奈緒美、勝俣将明、小林英子、
佐藤ゆかり、鈴木重行、土屋郁夫、松井和代
- ・事務局：小嶋栄子社会教育課長、宮崎英紀参事、福山亮副課長、岩崎晃副課
長、関間哲也係長、村山幸仁係長、北川智恵主任

8 発言の内容（要旨）

- (1) 開会
- (2) 委嘱状の交付

(3) 保坂委員長挨拶

(4) 議事

① 令和3年度事業報告について（質疑なし）

— 資料No.1に基づき事務局説明 —

② 令和4年度事業計画について

— 資料No.2,3に基づき事務局説明 —

松井委員:上越科学館科学部について、令和3年度の実施状況はどうだったのか。

令和5年度から中学校の部活の地域移行が始まるため、体育会系の部活については市と地域の協議が始まった。科学部がない学校もあるので、中学生を対象にこういった事業をしていただけるのはとても素晴らしいと思う。他の文化系の分野でもこういった取組が広がっていくといいと考えている。

事務局:上越科学館科学部の令和3年度の実施状況については、定員18人が参加し、6月から夏休み期間を除く月1回の活動を全6回実施したということである。

小林(英)委員:同和教育について、昨年度の全国人権・同和教育研究大会の際に、上越市はハラスメントをなくしていくという話があったと記憶しているが、社会教育課では白山会館での同和教育がメインで、対象もあまり幅広くないように感じる。ハラスメントに関して正しい知識の理解が進んでいないシニア世代などに対して、もっと教育の場を設けるべきではないか。

事務局:社会教育課では、部落差別をなくすための社会同和教育に取り組んでいる。ご指摘のハラスメントは人権に関する全般的な問題であり、共生まちづくり課の人権・同和対策室と連携しながら取り組んでいきたいと考えている。また市民啓発に関しては、地域に入って「人権を考える講話会」を実施しているので、その中でも触れて対応していきたい。

保坂委員長：地域の集まりなどで、ハラスメントが疑われる発言を耳にする場面もある。そのような際には、社会教育委員の皆さんも、相手が気分を害さないように気を配りながら、後からそっと個別に注意を促すよう声をかけてみてはどうかと思う。私たち自身も様々な場面で立ち位置や周りの視線を意識することが大事になっていると感じている。

森田委員：少子高齢化、人口減少について、もっと市が中心になって人口を増やすための努力をしてほしいといろいろな場で発言している。高校卒業後、市外・県外に進学した子どもたちが帰ってくるきっかけは、働く場所だと思う。せっかく二十歳を祝うつどいでリージョンプラザに集まるのだから、その機会に若者が就職場所とつながれるようなそんなアイデアを織り込めないものかと思う。

事務局：令和4年度の二十歳を祝うつどいは、当初4月2日に開催を予定しており、翌日に就職説明会が計画されていたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により延期になった。引き続き関係部署と相談しながら検討していきたい。

江村委員：区の施設の統廃合について、仕方がないことだと理解してはいるが、区の住民として地元の施設を残してほしいという思いがある。また、次年度でいいので、上越科学館や上越清里星のふるさと館など地元の施設を、地元の学校の子どもたちがどのくらい利用しているのか知りたいと思った。

事務局：施設の適正配置について、公民館は、地域の皆さんによる地域活動での利用が主という実態を踏まえて、施設の位置づけの見直しを進めるため、地域に入り、地域の皆さんと協議を進めているところである。数多くの施設があり、それぞれに状況も異なるので、時間をかけて地域の皆さんと話し合っ、進めていきたいと考えている。

渡邊副委員長：金谷地区公民館の移転について、新しい公民館ができるという

ことなので、公民館としての特徴は何か考えているのか伺いたい。
今年度の事業計画は設計ということだが、施設自体はいつごろできるのか、建築にはいくらくらいかかるのかが気になった。

事務局：基本的には現在の金谷地区公民館の施設の機能を中心に考えており、詳細は、設計を進める中で決定していくことになる。現在のところ、特段特徴のある機能は考えていない。今後のスケジュールは、設計に約2年、その後建築工事になる予定である。

③ その他

■ 令和4年度事業訪問及び情報共有の取組について

— 資料No.4,5に基づき事務局説明 —

流石委員：事業訪問の対象事業を限定しないということだが、コロナ禍で規模が縮小された様々な事業が、徐々に工夫しながら実施できるようになってきたと感じている。この情報共有シートは、紙面で情報を共有するとのことだが、直接話さないと共有まではいかないのではないかと思う。

渡邊副委員長：事務局からの相談を受けて、委員長・副委員長で検討して、こういった形にさせていただいた。事業訪問については、昨年度も、対象を限定してしまうとなかなか意見を出せないという意見もあったので、対象事業は限定せずに、関心のある事業を見ていただき、また実際に参加しなくても意見があれば寄せていただけるようご提案させていただいた。情報共有の取組は、できれば直接集まって話をしたいが時間や都合が合わずなかなか全員そろって話せないという状況の中で、まずは皆さんのお考えやご意見を書面で集めたいというもので、2、3回目の社会教育委員会会議の前に集約して、できれば、会議の前に皆さんと話をしてから会議の場で市へ提案したり、皆さんともっと話を深めたりできたらと考えている。

保坂委員長：会議に合わせて、会議の終了後に委員で話し合うなども考えられるが、とりあえず、皆さんから紙ベースで率直なご意見をいただいて、皆で共有していこうという取組である。

土屋委員（チャットによる意見）：情報共有の場としては、Slackなどのネット上の共有ツールがいいと思う。非公式ミーティングも気軽に取り入れてみたらよいのではないかと考える。コミュニケーションは頻度が多いことが大事なので、大げさに構えずに取り組んでいけたらと考える。

森田委員：イベントがやっと動き出したと感じている。こういう会議も、上越清里星のふるさと館などの社会教育施設を会場に開催して、会議に合わせて施設見学を行うというのも、施設を訪問するきっかけになっていいのではないかと思った。

小林(榮)委員：高齢者向けの福祉施設の中には、社会教育施設と重複している施設もある。利用者の声、施設の活用方法など、情報を共有してはどうか。

事務局：公民館などを会場に実施している高齢者向けのサロン事業のことと思うが、サロン事業の利用者から施設の改善要望など、施設によっては担当部署が異なるが、関連部署で連携して対応させていただくので、公民館等の利用者のご意見もお気軽に情報共有シートを利用してお寄せいただきたい。

小林(榮)委員：委員の皆さんは様々な分野で活動されている方々なので、この情報共有の取組を通じて、様々な情報を共有できるのはいいことだと思う。

■令和4年度社会教育委員に関する会議等日程について（質疑なし）

— 資料No.6 に基づき事務局説明 —

(5) その他

①各種役員・委員等の選出について（質疑なし）

— 保坂委員長説明 —

(6) 閉会

9 問合せ先

上越市教育委員会社会教育課

TEL : 025-545-9245 (内線 1260)

E-mail : shakaikyouiku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。